

特集

証明書発行手続

地方公共団体組織認証基盤（以下「LGPKI」という。）では、地方公共団体職員が安全に電子文書をやりとりするための電子証明書（以下「証明書」という。）、すなわち職責証明書、利用者証明書、Webサーバ証明書など5種類の証明書を発行しています。今月号では、証明書を作成し、これを利用する方々（以下「証明書利用者」という。）を対象に証明書の発行手続について説明します。

1 電子証明書発行手続の流れ

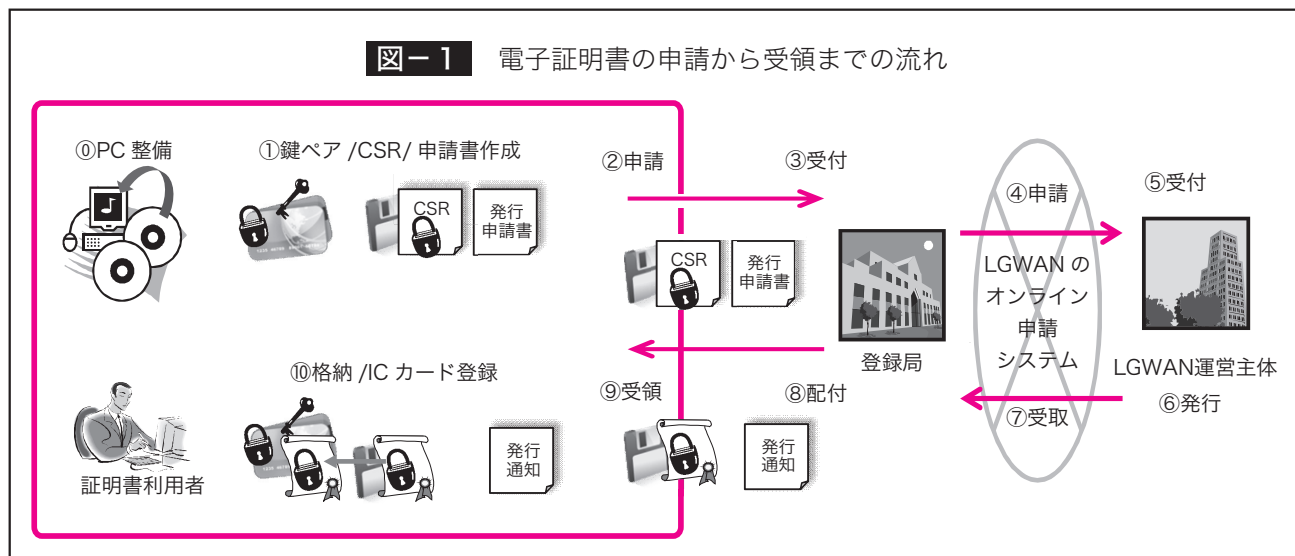
証明書利用者は、証明書を利用するパソコン（以下「PC」という。）環境を整備後、証明書の源となる鍵ペアとCSR（証明書発行要求）^{※1}を作成します。

このうち、CSRを電子記録媒体（フロッピーディスク（FD）等）へ格納し、必要事項を記入した証明書発行申請書を添えて地方公共団体内に設けられた証明書の申請窓口である登録分局^{※2}へ申請します。登録分局は申請書とCSRを受け付け、審査し、LGWAN運営主体へオンライン・システムにより申請します。

LGWAN運営主体は登録分局からの申請を受け付け、審査を行い、証明書を発行します。登録分局は発行された証明書をオンライン・システムにより受け取り、証明書を電子記録媒体へ格納して発行通知を添えて証明書利用者へ配付します。証明書利用者は、受け取った証明書を鍵格納媒体に格納します（図－1）。

証明書利用者の手続は、図－1の①から②及び⑨から⑩に該当します。これらの手続について「2 PC環境の整備」から「5 証明書の格納」において説明します。

図－1 電子証明書の申請から受領までの流れ



※1 証明書利用者が証明書発行申請を行う際に認証局へ提出する電子データ。

※2 証明書利用者と同一地方公共団体の中に整備された証明書発行に係る申請受付、審査と証明書の配付窓口で、証明書利用者とLGPKIとを仲介します。

鍵格納媒体を使用するための準備は、証明書を利用を予定しているすべてのPCに対して必要です。
標準システムのインストールと使用については、各団体の方針によって二つに大別されます。



- ① 証明書利用者が各自インストールして使用するパターン
- ② 登録分局の専用端末へのみインストールして使用するパターン

どちらのパターンを採用されているかについては、登録分局受付担当者又は庁内LAN端末運用担当者へお問い合わせください。

2 PC環境の整備

証明書を利用するためには、証明書が格納される鍵格納媒体^{※3}（ICカード等）をPCで動作するための環境を整備する必要があります。

製品に対応するドライバソフトをインストールする際は、ドライバソフトが対応するオペレーティングシステムに制限等がありますので、登録分局受付担当者又は庁内LAN端末運用担当者へ相談し、製品添付の説明書をお読みいただいた上で利用を予定しているPCへインストールしてください（表-1）。

次に、CSRの作成等を行うための専用ソフトである「証明書発行支援標準システム^{※4}（以下「標準システム」という。）」を利用予定のPCへインストールし、「設定ファイル情報更新処理」を実行して初期設定を行ってください。

3 鍵ペアとCSRの作成

鍵ペアとCSRはICカードと標準システムを利用して作成します。始めにICカードフォーマットでICカードを初期化しPIN番号（パスワード）を設定します。次にICカードをICカード読取装置にセットして標準システムを起動し、メニューから「鍵ペア/CSRファイル生成処理」を実行します（図-2）。

処理が完了すると、鍵ペアがICカードに作成され、CSRは図-2-④に設定されたフォルダへ書き込まれます。このフォルダへ書き込まれたCSRを電子記録媒体（フロッピーディスク（FD）等）へ格納し、登録分局へ提出します。

4 証明書発行申請書の作成

証明書発行申請書は証明書の種別により様式^{※5}が

異なります。申請したい種別の証明書様式へ必要事項を記入の上、登録分局へ提出します。

表-1 主な鍵格納媒体の概要

製品名	説明
LGWAN用ICカード	ICカード媒体
LGWAN用ICカードドライバソフトウェア	ICカード媒体をPCで動作させるためのソフトウェア
LGWAN用ICカードフォーマット	ICカード媒体を初期化させるためのソフトウェア
LGWAN用ICカード読取装置	ICカード媒体をPCへ読み書きさせる装置
LGWAN用ICカード読取装置ドライバソフトウェア	ICカード読取装置をPCで動作させるためのソフトウェア

※3 LGWAN用鍵格納媒体の型番等の詳細は、「F-1-1-3 総合行政ネットワーク接続仕様書(資料編)」を参照してください。

<http://center.lgwan.jp/library/index.html#F-1-1-3>

また、鍵格納媒体は、各団体で調達してください。

※4 標準システムは、LGWANポータルサイトからダウンロードして利用できます。

<http://center.lgwan.jp/library/index.html#K-3-3>

※5 様式及び記入方法の詳細は、「F-2-1-5 LGPKI証明書利用者の手引」及び「F-2-1-5 LGPKI証明書利用者の手引 様式」を参照してください。

<http://center.lgwan.jp/library/index.html#F-2-1-5>

図-2 鍵ペア/CSR ファイル生成処理画面

5 証明書の格納

登録分局から配付された証明書をICカードへ格納します。「3 鍵ペアとCSRの作成」で使用したPCとICカードを用意して標準システムを起動し、メニューから「証明書格納処理」を実行します(図-3)。

以上が証明書利用者手続の概要です。

次に、証明書の有効期限と証明書更新申請について説明します。

6 証明書の有効期限

証明書の有効期限は3年です。平成

図-2-②「証明書記載事項」には「名義」と「組織」があります。これらを入力する際は、申請する証明書の種別により次の前提条件があります。

- ① 職業証明書・利用者証明書・メール用証明書・コードサインング証明書の場合
「組織」に入力する文字列はあらかじめ「組織管理システム」に登録されている必要があります。
- ② 利用者証明書の場合
上記①に加え、「名義」に入力する文字列はあらかじめ「アカウント等管理システム」に登録されている必要があります。

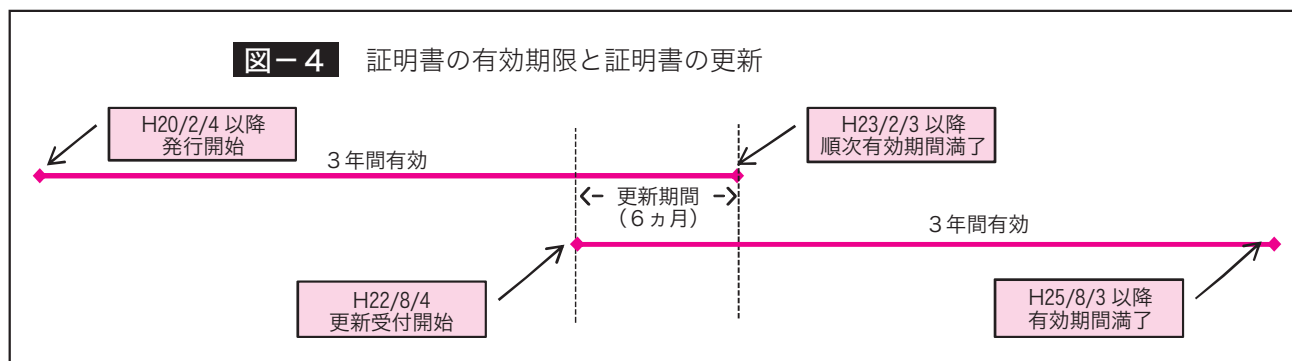
組織管理システム及びアカウント等管理システムはL2WAN運用担当者が利用するシステムです。これらシステムへの組織、名義の登録状況につきましては、L2WAN運用担当者に確認してください。

図-3 証明書格納処理画面

20年2月にLGPKI組織認証局が開設されてから現時点で2年5ヵ月が経過していますので、開設当初に発行された職業証明書及び利用者証明書は7ヵ月後の平成23年2月に有効期限が満了します。(図-4)

職業証明書及び利用者証明書を継続使用する証明書利用者は、有効期限満了の6ヵ月前から更新申請を行うことができます。更新申請手続そのものは発行申請

図-4 証明書の有効期限と証明書の更新



「5 証明書格納処理」を実行する際は、特に次の点に注意してください。



- ① 「3 鍵ペアとCSRの作成」で使用したPCであること
- ② 「3 鍵ペアとCSRの作成」で鍵ペアとCSRを作成したときのログインIDでオペレーティングシステムへログインすること
- ③ 「3 鍵ペアとCSRの作成」で使用したICカードをICカード読取装置へセットすること



LGWAN責任者、登録分局責任者の「ログイン用カード」又は「ログイン用データ」も組織認証局から発行されていますので、平成23年2月3日以降にログイン用カード又はログイン用データの有効期限が満了します。LGWAN運営主体ではログイン用カード又はログイン用データの有効期限満了6ヵ月前から更新申請を受け付けますので、LGWAN運用担当者、登録分局受付担当者におかれましては更新申請の準備をお願いいたします。



更新申請を行う際は、次の点に注意してください。

- ① 更新申請を行ってから新しい証明書が届くまでの間は証明書の利用ができません。有効期限満了6ヵ月前以降、証明書の利用がない時期を選んで更新申請を行ってください。
- ② 更新申請時期によっては新しい証明書が届くまでに1週間以上の時間を要することが想定されます。有効期限満了直前ではなく、ある程度余裕をもったスケジュールで更新申請を行ってください。

手続と基本的に同じです。更新申請を行う場合は、新しい鍵ペアとCSRを作成の上、必要事項を記入した「証明書更新申請書」を添えて登録分局へ提出します。

なお、更新申請を行ってから新しい証明書が届くまでの間は証明書の利用ができません。また、LGPKI組織認証局開設当初には多くの証明書が発

行されています。そのときに証明書の発行を受けた証明書利用者が有効期限満了直前（平成23年1月～2月頃）に一齐に更新申請をすると、LGWAN運営主体における更新作業が集中することから、新しい証明書が届くまでに1週間以上の時間を要することが想定されますので、混雑を避けるなど申請日程に留意してください。

LGWAN-ASPサービス接続／登録状況（平成22年6月10日現在）

LGWAN-ASPサービス提供者の接続／登録状況は次のとおりです。

■アプリケーション及びコンテンツ	登録	179件	■ホスティング	接続	101件
■通信	登録	157件	■ファシリティ	登録	203件

接続／登録済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しております。

<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/15,041.html>